

坂巻哲也プロデュース ヘアコサージュ 〈マチュアリーボブ〉

# 簡単!ヘアセット方法&着用テクニック



Tetsuya Sakamaki  
カリスマ美容師  
坂巻 哲也氏



銀座・青山・表参道の美容室「apish(アピッシュ)」代表。カールの魔術師として、サロンワークを中心に、ヘアショー、テレビ出演、撮影の他、プロの美容師向けにパーマとカラーの講習会や、美容系YouTube【坂巻哲也美容チャンネル】で情報発信など幅広い活動を展開中。

困ったときに役に立つ着用ポイントを教えます!

例えば髪型を変えた時に違和感を感じても、数日経つと見慣れてしっくりきますよね? それはウィッグでも同じこと。じっくり何度もかぶって色々試すと、見違えるように似合ってきますよ!

## How To Make



耳より上の毛を  
**くしゅくしゅ**と手のひらで  
優しく包むように、揉みこみ、  
ボリュームを出す。



耳より下の毛を、  
毛先から中心に向けて  
**もみゅもみゅ**と揉みこみ、  
最後に全体を整える。

Excellents



## Let's Try アシンメトリースタイルでオシャレ度UP!



右側耳上の毛をとり、ネジネジした後、ピンで上から留める。



左側から後ろにかけてくしゅくしゅ揉みこみ、ボリュームを出す。



襟足を外側にはねさせて、整える。



ヘアセット方法をわかりやすく  
YOUTUBE動画で大公開!

<https://youtu.be/UeaNxCNyopA>





本体 (ウィッグのみ)  
150°C以下でご使用いただけます！  
(1カ所に3分以上のご使用を避けてください)



必ず読んでね！

### 〈坂巻ウィッグ〉の裏側の構造を確認しましょう

**① フロントピン**  
前髪部分の髪に差し込んで留めるためのピンです。

**② バックピン**  
襟足部分の髪に差し込んで引っかけて使用するピンです。

**③ サイドワイヤー**  
曲げたり伸ばしたりしてフィットさせます。

**④ サイドアジャスター**  
ウィッグのサイズを調整します。

**フロントピンの使用方法**

① ピンの両端を反らせるようにして開いてください。

② ピンのクシを髪に差し込み、両端を押さえて留めます。

### 〈坂巻ウィッグ〉こだわりの技術

**自然な分け目**

自然なスタイル演出のため、分け目を中央から約1cm右側に寄せて作られています。

※着用の際は、分け目ではなくフロントピンを前髪の生え際中央に合わせて着用ください。

**本品の分け目は右寄り**

**ボリュームのある根元**

自然なボリュームを出すため、髪の毛の根元部分に逆毛を立てて製造しています。

**立体感を出すカラー**

カールに立体感を出すため、中間層の髪色に1段階暗いカラーを採用しています。

## ポイント解説！ — 自然に見える着用方法 —

- 1. ヘアネットをかぶる**  
ネットの太い部分を下にして、ネットを首元までかぶり、地毛を全て出します。
- 2. 地毛をまとめる**  
ネットを引き上げて、地毛を入れ、ネットの先を折り畳んでお手持ちのピンで留めます。
- 3. 凹凸をならす**  
後頭部の凹凸を、手のひらで円を描くように、丸くならします。
- 4. 全体をふんわり整える**  
ウィッグの前髪部分を持って、しっかり上下に振ります。全体に空気を含ませることで、毛束がほぐれ自然なカールがよみがえります。
- 5. 指で根元を立ち上げる**  
ウィッグの人工地肌部分を前から後ろへ指の腹を使ってゴシゴシとすることで、根元からしっかりボリュームが出せます。
- 6. フロントピンを留める**  
前髪の長さを合わせてから前髪の生え際中央にフロントピンを差し込んで留めます。  
顔の小さい方はウィッグ全体を後ろにズラしてかぶりましょう。
- 7. ウィッグをかぶる**  
前髪を押さえ、頭全体を入れ、バックピンを襟足の部分に差し留めます。
- 8. 横を合わせる**  
こめかみ部分をフェイスラインに沿わせます。  
サイドワイヤーが内側に折り込まれないよう注意しましょう。
- 9. サイズを調整**  
耳の後ろにあるサイドアジャスターで、フィットさせます。  
締める時はゴムを引っ張り、緩める時はゴムを緩めて調整しましょう。
- 10. 深くかぶる**  
最後に、ウィッグが不自然に浮かないようにするため、後ろから手を内側に入れてウィッグをぐいっと引っ張り、全体にフィットさせます。

### ウィッグスタンド組み立て方法

- ① 凹のスタンドに凸のスタンドを、輪の中を通すように差し込んでください。
- ② 上部分の凹凸にあわせて差し込んでください。
- ③ スタンドの上部分に固定パーツの凹凸を合わせて完成！

**【ウィッグの保管方法】**ウィッグの形がくずれないように、スタンドの脚部分を正面中央に合わせてかぶせて保管してください。

### お手入れ方法

- ① 霧吹きで水を数回かけて、全体を湿らせます。
- ② 目の粗いフォームで毛の流れを整えます。
- ③ 室内で寝かせた状態で自然乾燥させます。

### 汚れが気になるときのお手入れ

毎日ウィッグを着用した場合は、2週間に1回程度のシャンプー&リンスでのお手入れが目安です。  
※ヘアコサージュ専用のシャンプー&リンス(別売り)をお使いください。

**洗う** 水にシャンプー&リンスを適量入れて泡立て、2〜3分つけ置き、指先で軽く押し洗いをします。汚れがひどい時は二度洗いしてください。

**乾燥** 流水ですすぎ、タオルで軽く押さえながら水気を取り、室内に寝かせた状態で自然乾燥させます。

**整える** 完全に乾燥したら、毛先から軽くブラッシングし、毛の流れを整えてください。

**【お取り扱い上のご注意】**●就寝時は外してください。●体質によりかぶれが生じた場合は、使用を中止し、皮膚科専門医等にご相談ください。●ストーブやエアコンの近く、サウナ・浴室等、火気のある場所や高温多湿の場所での使用は避けてください。●毛染め・脱色・パーマはおやめください。●150°Cより高温のホットカーラー、ヘアアイロン、ドライヤー等は使用しないでください。●150°C以下のホットカーラー、ヘアアイロン、ドライヤーの使用時に、1ヶ所に3分以上の使用をしないでください。

**【お手入れ上のご注意】**●洗濯機でウィッグを洗わないでください。●市販のシャンプーはウィッグが傷むことがありますので使用しないでください。●過度の押し洗いはスタイルがくずれの原因となります。●ドライヤー・暖房器具などでの熱風乾燥は、縮みや傷みの原因となります。●濡れた状態でブラッシングすると、毛切れやスタイルがくずれの原因となります。●強いブラッシングはウィッグが傷む原因となります。

**返品についてのご注意** 美容室またはご自分でカット、パーマ等の熱処理をされた商品、香水やタコ等の匂い移りのある商品、ファンデーションやヘアスプレー、ペットの毛等が付着した商品の返品はお受けできませんのでご了承ください。